

館報



9月号

やまかた

No. 749

平成30年



美と笑顔を作る仕事

上條 ゆい 由維さん (上竹田)

小学生の時に初めて行った美容室、おしゃれでキラキラとした美容師さんに憧れて自分もその道に進み、美容師一筋11年です。

「お客様がキレイになっていくのが嬉しいから、お節介もやいちゃう！」
と、髪を切りながらファッションやメイク、相談事にも乗るそうです。

どんなに忙しくても「いつも素敵してくれてありがとう」という言葉を
いただくと疲れが吹っ飛ぶと輝く笑顔で語ってくれました。

(9月5日 美容室アクアブルーエストにて)

健水姿
シリーズ

告知板

◆第68回山形村総合文化祭 参加者募集のお知らせ◆

個人や団体、サークル活動で作った作品を展示したり、ステージで日ごろの成果を発表してみませんか？

多くの皆さまの参加をお待ちしております！

開催日 11月3日(土) 4日(日)

会 場 農業者トレーニングセンター

芸能（ステージ）発表

ふるさと大ホール

展示発表・ワークショップ

体育館ほか

申込み 10月2日(火)までにトレセンへ

申込み

※申込用紙はトレセン窓口にあります。

打合せ 申込みをされた方は、以下の日程で打合せを行います。

芸能（ステージ）発表

10月5日(金) 19時30分～

展示発表・ワークショップ

10月10日(水) 19時30分～

いずれも場所はトレセンで行います。

ご不明な点は山形村公民館☎98-3155までお問い合わせください。

小坂



中大池



上大池



地震総合防災訓練

9月2日(日)、地震総合防災訓練が村内全域で行われ、各地区で住民が参加しました。

土のうリレー

給食訓練

安否確認

下竹田



上竹田



下大池



同日、消防団秋季訓練も行われました。はじめに、山形保育園を火災現場とした模擬火災訓練がありました。小学



順でホースを延長し、火事場さながらの緊張した実践訓練となりました。その後、トレセングラウンドにて分団ごとに実技訓練（ポンプ操作法）を行い、消防署講師による指導を受けました。有事の際には日頃の訓練が役に立ちます。消防団の皆様お疲れ様でした。

小学校秋のPTA作業

9月9日(日)、山形小学校で

秋のPTA作業が行われました。運動会を目前に控えた今回の作業では、校内外の清掃、運動会時に使用するテントの設営などを行いました。前日の夜まで降っていた雨が心配でしたが、ぬかるんぬかるんでいた校庭も回復し、予定通り作業が行われました。



中学校資源物回収

9月8日(土)、鉢盛中学校の生徒・PTAが資源物回収を行いました。この日はあいにく土砂降りの雨になってしま

いましたが、生徒たちは各家庭から出されたアルミ缶・ビール瓶を回収し、その後しっかりと分別していました。

9月9日(日)、山形小学校で秋のPTA作業が行われました。運動会を目前に控えた今回の作業では、校内外の清掃、運動会時に使用するテントの設営などを行いました。前日の夜まで降っていた雨が心配でしたが、ぬかるんぬかるんでいた校庭も回復し、予定通り作業が行われました。

内を涼しくし、野外に熱を放出するエアコンが普及したからだろう。みんなで使えば、その分、野外が熱くなる!悪循環になるはずなのだが。環境を守るためにも、地球を怒らせないためにも、心掛けた▼また同時に、災害時の備えにも心掛けたい。東日本大震災の時に、震災時の地域コミュニティが話題となつたが、防災訓練ですらも年々参加者が減っているのが気なるところである。

山すそ

「猛暑」という言葉を毎日聞いていた今年の夏。夕立も少なく、「恵みの雨はどこへやら」と思っていた

なかつたと記憶している。が、最近では殆ど見かけない光景となつた。ボタン一つで室内を涼しくし、野外に熱を放つ循环になるはずなのだが。環境を守るためにも、地球を怒らせないためにも、心掛けた▼また同時に、災害時の備えにも心掛けたい。東日本大震災の時に、震災時の地域コミュニティが話題となつたが、防災訓練ですらも年々参加者が減っているのが気なるところである。

図書館からのお知らせ

*不要な本はありませんか?
リサイクル本を募集します。

11月3日(土)、4日(日)の文化祭で、図書館の除籍本や除籍雑誌、住民のみなさんから寄せられたリサイクル本を提供します。掘り出し物の本に出会えるかも?

それに先立ち、おうちに不要な本がありましたら、10月中旬に図書館までお持ちください。お待ちしています。

*臨時休館のお知らせ

10月14日(日)は、村民運動会のため休館となります。ご理解ご協力をお願いします。



あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK NO.37

編集=山村図書館



「物」の語りに耳をすます…
「平和への祈り」展
8月にふるさと伝承館と図書館が共同企画した「平和への祈り」展では、戦地から家族に宛てた手紙や軍隊手帳などの貴重な資料に加え、伝承館で所蔵している軍服、軍靴なども並べて展示されました。「昔、こんなことがあったんだよ」と子どもに説明しながら見入る親子連れ…、平和への祈りを込めて図書館に来て偶然展示を知つて並べて展示されました。

折り鶴を折る子どもたち…、戦死した方の写真や遺族の思いがづられた『平和の礎』(村遺族会発刊)を静かにめくる方…、企画紹介の新聞の切り抜きを握りしめて来てくださる方も多くみられました。一方で「伝承館というところで企画展をやっているのかと思つた」と期待して来られた方は、芸員の大島幸子さんの説明を熱心に聞いていかれました。大島さんいわく「戦争を知る世代が少なくなるこれからは『物』に語つてもらう時代になるのでは?」伝承館には多くの資料が眠っています。住民のみなさんに満足していただけるような企画展示をするためにも、伝承館の整備が期待されますね。

期間内に映画会で上映したドキュメンタリー映画『ひとりひとりの戦場』のDVDは図書館で貸し出します。

「物」の語りに耳をすます…
「平和への祈り」展

自然観察クラブ 秋編 「たき火で

おいしいものパーティー

棒に巻きつけたパン生地や、いろいろな秋の味覚をたき火で焼いちゃおう!

期日…10月20日(土) 10時~12時
場所…B&Gプール南広場

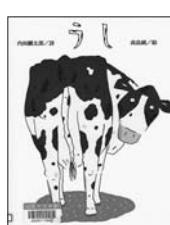
持ち物…軍手

定員…親子10組

問い合わせ…図書館 98-3155

おすすめ新着本紹介

『うし』 高畠 純 (アリス館)



「うしがうしろを振り返つたら、うしがいた。そのうしろのうしもうしろを振り返つたら…。」内田麟太郎の詩を絵本化。もう!牛いっぱいの楽しい絵本。

『子ぶたのトリュフ』 ヘレン・ピータース (さ・え・ら書房)



ジャスマインは赤ちゃんぶたのトリュフの命を助けますが、お父さんはトリュフを飼うことを許しません。なんとか認めてもらおうと、

搜救犬ならぬ捜査犬としてトリュフを訓練をしていたある日、友だちのトムから預かつたモルモットがいなくなつて…。

『空飛ぶ救命救急室ドクターへりの秘密』 和氣 晃司 (彩流社)

ドラマ・映画で『コードブルー』が大人気となり、ドクターへりが注目されています。2001年に運用が始まったドクターへりの働きや実態、クルーの仕事、子どもたちがあこがれるクルーになる方法などを解説します。

『50歳すぎたら、「まあ、いいか」「それがどうした」「人それぞれでいこう』弘兼 憲史 (幻冬舎) 『課長島耕作』で知られる漫画家・弘兼憲史が、人生後半を面白く生きるヒントを伝授します。

『大活字本『漱石の長襦袢』上・下』半藤 末利子 (埼玉福祉会) 50歳すぎたら、「まあいいか」「それがどうした」「人それぞれでいこう』弘兼 憲史 (幻冬舎) 『課長島耕作』で知られる漫画家・弘兼憲史が、人生後半を面白く生きるヒントを伝授します。

DVD・『雑草管理の基本技術と実際』シリーズ①~④ (農文協) 「野菜づくりのコツと裏ワザ」のDVDが増えました。

・『君の名は。』・『星野道夫のいた風景』・『戦慄の記録 インパール』・『わたしは、グニエル・ブレイク』



山スポ

くそれぞれの夏

ヨガ教室



8月24日(金)、トレーニングセンターでスポーツ推進委員会主催のヨガ教室がありました。毎週金曜日、計6回の講習です。講師の降旗早月さん(上竹田)によると、「体・呼吸・心を一つにして体と向き合うと自分の不調に気づくことができる。」とのこと。老若男女30人以上が集まり、ゆったりとしたヨガで一週間の疲れを癒していました。



8月26日(日)、子ども会育成会主催の第32回山形すこやか杯優勝大会が開催されました。始球式で村長が打ち、その後役員の笛で一斉にスタートしました。当日は炎天下での全力プレーとなり、熱中症の心配もありましたが、大会役員の用意したお茶とバナナのおかげで楽しくプレーできました。

山形少年サッカーU11は、1回戦・2回戦と順調に勝ち進み、決勝戦では先制されたものの試合終了間際同点に追いつき、PK戦の末、32チームが参加し4ブロックに分かれ試合が行われました。

残暑が厳しい日でしたが、子どもたちは暑さに負けず

頑張り、メダルを手に笑顔で大会を終えました。

清水高原ロードレース



9月9日(日)、今年も清水高原を舞台に、信濃山形清水高原サイクリロードレースが開催されました。6・5km標高差約500mというコースを自転車で駆け上がるこのレース。スカイランドきよみづを過ぎてからの上りは、まさに心臓破り。1番早い選手は21分台でゴールしていました。

村民ゴルフ大会



9月5日(水)、豊科カントリー倶楽部にて第21回山形村民ゴ

ルフ大会が開催されました。コースには前日の台風21号の爪痕が残っていましたが、ゴルフ場および大会関係者のご尽力により、無事に競技を終えることができました。

以下、成績(敬称略)

優勝	矢田 順二
準優勝	平林 克視
第3位	古川 誠治
ベスグロ(男子)	堤 幸子
ベスグロ(女子)	川上 幸子

村長杯マレットゴルフ大会



8月26日(日)、なろう原公園マレットゴルフ場にて第4回村長杯マレットゴルフ大会が行われました。始球式で村長が打ち、その後役員の笛で一斉にスタートしました。当日は炎天下での全力プレーとなり、熱中症の心配もありましたが、大会役員の用意したお茶とバナナのおかげで楽しくプレーできました。

評価された点は次の3つ。

● 調理員による食材本来のおいしさを大切にした安全な給食づくり。

● 子どもの将来の食事を守るために、学校活動において食育の指導や地域への啓発活動の推進。

● 地産地消を意識し、地域の生産者ボランティアとの連携を30年以上も継続。

今回の受賞を受けて、学校の杉木栄養教諭は「30年前の管理栄養士時代に掲げた地産地消の思いがやっと報われた。給食に携わってくれた人々のおかげでいただけた賞です」と話してくれました。今日まで学校で食べられている給食も、様々な方が苦労して築いてきたという歴史を改めて考えさせられました。

給食に懸ける思いが
ついに認められました!

山つこ 情報局



8月19日(日)、セイジ・オザワ松本フェスティバル2011のオープニングイベントとして行われた吹奏楽パレードに、鉢盛中学校吹奏楽部が参加しました。

松本市内外から55団体が参加した大きなパレードでした。今年はなんとトップバッター、パレードの先頭を鉢盛中学校吹奏楽部が受け持つことになりました。

晴天にも恵まれ、夏の日差しが照り付ける中、街頭の声援を受けながら堂々とした姿で演奏していました。参加した生徒たちの一生懸命ながらも楽しそうに演奏している姿が印象的でした。

吹奏楽パレード

キッチン和っこ



8月21日(火)、子どもたちに山形村産の野菜料理を振る舞い、絆や食育につなげるといいう趣旨のイベント「キッチン和っこ」が行われました。中村よしみさん(上大池)を中心としたボランティアが手作りのカレーを提供したり、料理実験や囲碁・将棋教室も行われ、約100人の子どもが集まり大盛況でした。

自然の恵みを知る

通学学舎

8月26日(日)～29日(水)、トレーニングセンターで実施された通学学舎では、3泊4日の共同生活の中で「思いやること」「助け合うこと」「がまんすること」などを学びました。また、信大生から“植物の種が遠くへ飛んでいくための仕組み”や星座についてなどの特別講座もありました。いつもと違う4日間はこれからの成長の糧となることでしょう。



色々な人の協力を得て、料理も無事完成！



お楽しみの信大生講座

「行ってらっしゃい」「行ってきます」

8月26日(日)、鷹の巣自然公園にて子ども会育成会主催のチャレンジ広場が行われました。今年もジュニアリーダー(館報746号で紹介)が準備、進行を担当し、夏空の下に集まつた51名の児童が楽しい1日

午後は自然の中で遊ぶオリエンテーションを行いました。樹木とロープを使ったアクティビティ、宝探し、秘密基地作り、アクセサリー作りの中



を過ごしました。午前はごはん班、おかず班、食事道具班に分かれて昼食の準備をしました。野菜を切る、薪を割るなど不慣れな作業も多くありました。お兄さんお姉さんが手を取って教える、あるいは知恵を出し合つて試行錯誤するなど、みんなで協力しておいしい昼食を作ることができました。

子どもたちが外で遊ばなくなり、思い思いに楽しい時間を過ごしました。子どもたちが外で遊ばなくなつたと言われるようになつて久しいですが、だからこそ今回の経験は新鮮で楽しいものになつたことでしょう。



で一番好きなグループに交じり、思い思いに楽しい時間を過ごしました。

子どもたちが外で遊ばなくなり、思い思いに楽しい時間を過ごしました。子どもたちが外で遊ばなくなつたと言われるようになつて久しいですが、だからこそ今回の経験は新鮮で楽しいものになつたことでしょう。



今月の 声

ツー・バードック

還暦花火打ち上げ実行委員会 会長 山口 直樹



「処で、俺達は、還暦花火どうするひう？」の提言に、「そりやあ、上げるつてもんぢやあねえかいつ！」の一言で、打ち上げが決まりました。

名簿作成から始め、一昨年八月十四日には、プレ同窓会を開催して、気分を盛り上げつつ、役員会を重ねました。

昭和四十五年に山形小学校を卒業した同級生三十名と、音楽・家庭科を教えて戴いた池内（現・山岸）先生をお招きしての同窓会になりました。

冒頭の校歌斉唱では、卒業して何十年も経つと言うのに、ふと何かの拍子に口ずさむと、一瞬にして、あの子どもの頃の純真さを甦らせてくれる不思議さに思いを込めながら、懐かしいアノ伴奏で声高らかに唄い上げ、開式です。

「同窓会」つて本当にいい。何故なら、自分自身の人生と言うドラマで出演して居た仲間との再会だから。お互に影響を受け合い、感じ合い、成長できた、

本ハイランド山形支所長の同級生二名が同席だつたのを良い事に、村内の同級生にも声をかけ、まずは呑もふ。

山雅副社長の近況報告（一人一程度）から始まつた。楽しい時間は、本当にAツちゅ間に過ぎて、駐車場へ移動。遂に還暦花火を観上げます。一緒に呑みたかつた、話したかつた、還暦祝いの花火も觀たかつた同級生が、五人いません。偶然にも誕生会でお互いの家を行き来して居た程、仲が良かつた友達ばかりです。だから、彼ら彼女らに想いを馳せると残念でなりません。

人生最初の節目、成人式には全員揃つて居たのに。あれから四十年、還暦の節目を元気に迎えられたことに感謝して、空で觀てくれた友の分まで毎日を大切にできたらと。終りに、こんな悪ガキだった私達を、還暦のおじさん、おばさんに成る迄、優しく見守つて下さつた、愛する我が山形村の方々に感謝感謝です。これからも、宜しく御指導の程、お願ひいたします。

関係者の皆さん、本当に色々ありがとうございました。

ジャズピクニッく



ピアやまがた敬老祭



9月8日㈯、ピアやまがたにて敬老祭が行われました。

職員、利用者のご家族、ボランティアスタッフが一丸となり、"和氣あい愛"とした空間を作つてました。

スコートにて第7回清水高原ジャズピクニッくが開催されました。ステージではハーフタイムプログラマーさんの公演があり、トランペット、サックス、トロンボーンなどの音色が山間に響きわたりました。曇り空の下、たくさんのお客がジャズ色に染まりました。

おめでた(子・親)



(敬称略)

畔上	月唯	透
野村	歩翔	優宜
岡上	起生	洋
柳澤	美依	篤志
田口	詞葉	勇
中村	颯真	俊郎
安藤	映南	澄美子
中村	映南	大地
中村	麻紀子	上竹田
柳澤	佳織	上竹田
田口	葉月	下竹田
岡上	真梨	小坂
野村	真梨	小坂
畔上	月唯	小坂



以前、館報に「往復はがき」というコーナーが存在したことをご存知だろうか？

時代とともに館報の内容も変わつていき、新しく生まれたコーナーやリニューアルされて続いているコーナー、なくなつてしまつたコーナーがあります。

「往復はがき」はなくなつてしまつたコーナーで、村民の素朴な疑問に、行政だけではなく村内の専門家の方に答えて頂くというもの。情報が溢れている現代において、このコーナーの復活は、インターネットではなく紙面で知る情報という理由からも、古臭さの中にも新鮮さがあると感じています。



往復はがき

先日行われました山形じゃんずらに参加して、気になつたところが数点ありましたので質問してみました。

Q1. 平成最後の山形じゃんずら。込めた想いは？

Q2. 今年はステージで踊る人が居ませんでしたが：

Q3. 山形じゃんずらでの、じゃんずら音頭（踊り）の位置づけは？

じゃんずら実行委員会事務局
答えてくれる人

A1. 平成最後という意識は特にありませんでしたが、村民の皆様に、夏祭りをいつぱい楽しんでもらいたい。また、子どもたちの思い出となる夏祭りにしたいという想いで取り組みました。

山形村で生活していく上で、気になつた素朴な疑問を解決する、また学びの場となれば、と考えています。

A3. じゃんずら音頭（踊り）は、村民の心の一体感を作つていく上で大切なものです。夏祭り山形じゃんずらの重要な要素であると考えています。今後も、じゃんずら音頭を中心しながら、祭りの運営ができればと思います。

質問をした時期が、じゃんずら実行委員の反省会前ということで、回答は事務局の方のお考えとなります。

A2. 昨年まで、各分館から2名選出してもらつていましたが、見直して欲しいとの意見があり、公募にした結果、踊り手の人数を確保できず、残念ですがステージで踊りができるという状況になりました。



みんなの人権

(77)

夏休みー「ちびまる子ちゃん」と今

(頼られ、ほめられ、子(ひと)は育つ…子の「要る場所」づくりの工夫 ②)



(28)

眼差しの友蔵爺さん。懐かしい「ちびまる子ちゃん」の、夏休みの一コマです。嫌々ながらお使いに走る日もあれば、友蔵爺さんとゲラゲラ笑いながらテレビに見入つたり、友だちの家にお泊まりしたり…。あまり目立たない小学生「まる子」と、どこのでもいそうな子どもや大人が織りなす日常のありふれたドラマ。老若男女誰もが、時代を超えて魅了されるこの「ミック」は、原作者さくらももこさんの、昭和50年代のふるさと「静岡」での思い出が原点になつていると聞きます。△そのさくらももこさんの早過ぎる訃報を知ったこの夏に、松本で開催中の「創作人形」高橋まゆみの世界展に立ち寄る機会がありました。孫を荷台に乗せて自転車を漕ぐ好印象、農作業を終えて近所の庭先に集う農家の人々。辛い時を癒やしてくれるよう添えられた寝つきの母の細い手…。自分自身の懐かしい少年時代の思い出がよみがえつて、長い間、展示会場に立ち尽くしていました。△田や畑の草取り、養蚕の手伝い、鶏やウサギの世話…。昭和30年代の、「町」から遠く離れた山村のありふれた生活風景。そこでは、子どもも貴重な労働力。貧しく苦しいけれど、親や大人に「頼られほめられる喜び」がありました。そして、時おり仲間と興じる草野球、川での水遊びや魚釣り、秋のキノコ採りやスガレ追い…。文字通り「僕の学校は山と川」。深い信州の我が家集落にも、町のちびまる子ちゃんと通じる「労働(手伝い)」「仲間」そして「自然と遊び」が混在していました。△さて、「もむじさんなり、平成最後の時代を生きる今の子どもたちをどう描くのか」などと考えながら、自分がこの夏に少しばかり関わりを持つた、「山形っ子」たちのことを思い起こしています。猛暑のなか、水筒や水着、課題帳などを背負つて、児童館やトレセン、あるいは区の公民館などに集まつて来る子どもたち。そこは、今の彼らにとって、家庭と並んで大切な「地域の居場所」。「子ども広場」「キッチン和っこ」の集い、そして、休み明けの「通学学舎」や「チャレンジ広場」…。中・高・大学生のボランティアに交じつて活躍する小学生リーダーたち。「居場所」だけではなくて、周囲から頼りにされ、「要る場所」を体得した彼らの、自己充実感に満ちた姿。文字通り「頼られほめられ、子は育つ」とを実感する夏になりました。



『白球がつなぐ絆と夢』

写真（左から）

小山 大稀さん（中3・小坂）
朝比奈大翼さん（中3・上竹田）
中川 元樹さん（中3・小坂）
百瀬 将斗さん（中2・下竹田）



絆

KIZUNA

この夏に開催された日本リトルシニア東日本選抜野球大会にて、安曇野南シニアのメンバーとして山形村の4人が出場した。チームとして初の全国の舞台。3年生にとっては中学校最後の大会であり、2年生にとっては3年生と一緒にできる最後の大会であった。一試合でも多くこの仲間と野球をしたい」という気持ちが初戦突破につながった。惜しくも2回戦で敗退（ベスト16）したが、最後まで諦めず、チーム一丸となつて自分たちの野球ができたと口をそろえる。

キヤブテンの大翼くんは、「どことの将斗くんは、3人を見てこのチームにするか迷っていた時、大稀くんと元樹くんが「一緒にチームでやろう」と声を掛けてくれた。一つ下の将斗くんは、3人を見てこのチームで野球をやりたいと決めた。軟式と硬式、ボールは違えど小学校時代から野球が好きで続けてきた仲間が一つに集結した。学校でもグラウンドでも毎日一緒に過ごし、互いに切磋琢磨してきた。3年生は、一緒に野球がやれて楽しかった。ありがとうと互いに感謝の気持ちでいっぱいだと言う。将斗くんは、先輩たちを超えるように頑張りたいと誓う。3年生の3人は、「これまで学んだことを活かして高校に行つても野球を続ける」と力強く語ってくれた。目指せ甲子園！」

大池 蘭さん
まゆ
下大池
みづがめ座

成人式でパートII
上條 大悟さん
中大池
おひつじ座

若者も献血へ！



Jリーグへと
羽ばたけ！

地元の大学で健康づくりや、スポーツ・運動指導について学んでいる大悟さん。勉学と共に、小学校の頃から続けるサッカーにも夢中。

サッカー部の活動は、平日の練習に土日は練習試合や大会が組まれ、サッカー漬けの生活を送っているとのこと。数少ないオフには、友人と美味しいものを食べに遠出などシリフレッシュしているそうです。

将来の夢は、幼いころから抱いているプロサッカー選手。夢を追い続ける好青年の、今後に注目ですね。

神奈川県内の大学で看護について学んでいる蘭さん。

看護や医療を学ぶ中で、献血に関心を持ち、「献血の大切さを広め、同年代の献血者数を増やそう」と活動している東京都学生献血推進連盟の副会長なども務めているそうです。

休日には、4月に納車されたクロスバイクでサイクリングがてら観光も楽しんでいるとのこと。

看護師になる夢に向かい勉学に励みながら、学生生活を楽しみたいと話してくれました。